

研究課題（テーマ）		未就学児を持つ働く母親の精神的健康と育児・職業性ストレスとの関連		
研究者	所属学科等	職	氏名	
代表者	看護学部 看護学科	助教	浜多美奈子	
分担者	看護学部 看護学科 看護学部 看護学科	教授 講師	田中いずみ 遠田大輔	
研究結果の概要				
<p>本研究の目的は、未就学児を持つ働く母親を対象とし、家庭と就労によるストレスと精神的健康との関連を明らかにし、働く母親の精神的健康の保持増進およびキャリア継続に向けた家庭と仕事の両立支援を検討することである。</p> <p>富山県内にある保育所に協力を依頼し、同意の得られた6施設において、未就学児を持ち働く母親を対象に自記式質問紙調査を行った。精神的健康（GHQ12）、育児ストレス（PSI-SF）、職業性ストレス（BJSQ）、母親の属性、家庭状況、就労状況、職場・家庭からのサポートの有無などについて調査した。GHQ採点法でのカットオフ値4点以上を精神的「不良群」、3点以下を「良好群」とし、母親の精神的健康と育児ストレスおよび職業性ストレスとの関連を検討した。</p> <p>母親の精神的健康には、親の側面（子育てに関する負担感や夫との関係）に関する育児ストレスと職業性ストレス（仕事の負担）が関連していた。</p> <p>未就学児をもつ働く母親の精神的健康の向上には、育児ストレスと職業性ストレスの双方向への支援が重要であることが示唆された。父親の育児参加や育児の外部サービス利用促進による母親の育児負担の軽減、また就労する母親あるいは共働き夫婦を対象とした家庭と仕事の両立負担を考慮したメンタルヘルス支援、職場環境の整備の重要性が示された。</p> <p>令和6年度は、上記の結果について、国際学会誌での論文投稿に向けて英文での論文執筆を行った。</p>				
今後の展開				
<p>現在、英文校正中であり、今後は国際学会誌(Issues in Mental Health Nursing や Women & Health 等)への投稿を行う。今後の展開としては、インタビュー調査などから質的に就労する母親のメンタルヘルスに関連する因子を明らかにしていく。</p>				